

金星怪人ゾントアの襲撃 (1966)

ZONTAR, THE THING FROM VENUS

メディア 映画

ジャンル SF

製作国 アメリカ

時間 80分

公開情報 劇場未公開・TV放映

【解説】

R・コーマンらが50年代に作ったSF映画数本を、L・ブキャナンは立て続けにカラーでリメイクしたが、本作は「金星人地球を征服」のリメイクである。特殊な装置を発明した科学者が、金星人ゾントアとの交信に成功する。金星から帰還した探査船にとりついて、ゾントアは地球に侵入したというのだ。金星に似た環境である火山の洞窟に姿を隠したゾントアは、毒針を持つ鳥型の怪物を使って人間を襲う。襲われた人間は、ゾントアのしもべになってしまうのだ。

当初、ゾントアに心酔して協力していた科学者が、良心に目覚めてゾントアを倒しに行くのだが、ラストでその全貌を現すゾントアは、知性のカケラもなさそうなぞんざいな作りの着ぐるみで拍子抜け。前作の“金星ガニ”のほうがよほどユニークだった。B級SFは楽しめるモノだと思っている人は、本作を見て、シャレにすらならない作品もあるのだと思い知ったほうがいい。

【クレジット】

監督	ラリー・ブキャナン	Larry Buchanan
製作	ラリー・ブキャナン	Larry Buchanan
脚本	ラリー・ブキャナン	Larry Buchanan
	H・テイラー	
撮影	ロバート・B・オルコット	Robert B. Alcott
出演	ジョン・エイガー	John Agar
	スーザン・ビューマン	Susan Bjrman
	アンソニー・ヒューストン	
	パトリシア・デラニー	
	ウォーレン・ハマック	